

こんにちは

-No 4 4

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6

野党統一候補

宮本さんが国会へ！

市民と野党の統一候補として大健闘した日本共産党の宮本徹さん。比例代表選挙で再選を果たしました。選挙中の応援演説には、党派を超えたりレートーク。立場が違って、お互いを尊重し合う政治、「政権交代で連合政権」を訴えました。実現させたいです。

今回の選挙で特に感じたことは、選挙権のない若い方からの声かけが多かったことです。高い教育費が進路の選択肢となる、社会で暮らしている収入が得られるのか、男女による性差、地球環境の未来など、自身の未来への不安の声を直接伺いました。

他には「共産党は、子どもと高齢者とどちらに重点を置いた政策なの？」という質問も。こうした不安は、国民の分断を生む社会を作ってきた、政治の責任だと思います。誰にも子ども時代があり、年を重ねていくものです。誰もが安心して自分らしく、その人生を歩んでいけるように支えることが政治の役割です。

日本共産党はコロナ対策・雇用・福祉・教育・気候危機・平和・ジェンダー平等など、国民一人ひとりの命と暮らしを「人権」の視点で政策を掲げ、これからも取り組んでいきます。



活動報告・今後の日程

10月17日

超党派議員連盟議会報告会

6回目となる超党派7人の議会報告会。党派を超えたつながりの大切さ・強さを、参加者の皆さんと共有できました。



12月定例会が始まります

11月26日 初日

12月 1日 一般質問

2日 一般質問

(山口・浅見)

3日 一般質問

(山田・渡辺・さとう)

7日~14日 委員会

20日 最終日

地球温暖化ストップ！本気で対策を

「雨のたびに怖くて、夜は安心して眠れない」市内の川沿いにお住まいの方の声です。これまでの雨の降り方とは異なる近年の豪雨。国内や世界でも様々な大きな災害に見舞われています。

いま、地球環境は大きく変化し、「人間の影響が温暖化させてきたことには、もはや疑う余地はない」との報告も出されています。



子ども達が安心して過ごせる地球を残すためには、2030年までに全世界の温室効果ガス(大半がCO₂)排出を2010年と比較して、半分近くまで削減できるかどうかがかぎとなります。

政府の削減目標は42%の減。全世界の平均値よりも低い目標です。石炭火力発電の新增設や輸出をすすめる姿勢も見すごせません。

★石炭火力や原発をやめない政治にはストップを！

《日本共産党の提案》

★省エネルギーと再生可能エネルギーを組み合わせCO₂を最大60%削減。

★省エネ・再エネで254万人の雇用増。GDP 205兆円増。

★産業分野のCO₂削減目標を国との協定として、国民への公約に。

市民の声を聞く市政へ

～撤去された秋津4丁目第2仲よし広場から考える

ボール遊びや散歩…多くの市民の方が利用してきた仲よし広場の突然の撤去。近隣住民の方から驚きや落胆、怒り、要望など様々な声を伺ってきました。



この公園の土地は、所有者である市民の方のご厚意により、長年無償でお借りしてきました。所有者さんの返還要請を受けた時、購入検討や、代わりとなる場所を新たに計画すること、近隣住民への周知等を市が丁寧に行うことが必要だったのではないのでしょうか。

そこで、近隣住民の方にアンケートのご協力をいただきました。アンケートの大半が「残念」との思いが強く、「代わりの公園を作ってほしい」という声も多く届きました。

10月18日、東村山市の担当課へこの声をお届けすると同時に、「直接市民との懇談の場を設けてもらいたい」と、要望しました。



市の担当者との話し合いの中で、市がこの公園の重要性を把握し、土地購入についての検討も行った経緯等を伺いました。そうした話を聞く場を市民は求めています。けれども、市民との懇談要請については、「工事説明以外には行わない」との回答で、残念ながら応じてもらえませんでした。

私は、話し合いを重ねて信頼関係を築くことで、よりよい住環境を作っていくことができると考えます。その為には、市民の声を聞く市の姿勢が求められます。

電話やメール（市のホームページから）で、市へ要望を伝えることができます。代わりとなる公園の設置や、皆さんの思いをご一緒に伝えていきましょう。



市役所 ☎ 042(393)5111 (代表)

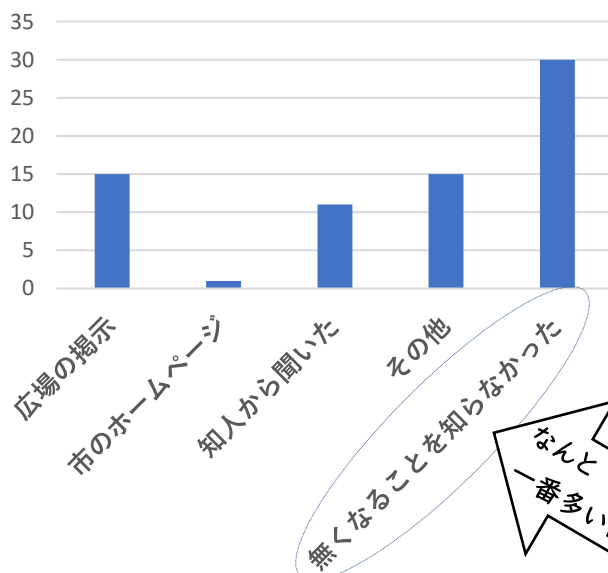
近隣の方からお話を伺う中で、この公園が作られる時のお話を伺ったところ——

「ここに公園を作りたい」と、市の担当者が近隣住民の方への聞き取りや要望を伺いながら丁寧に進めてきた経過がわかりました。公園は、近隣住民の協力無くしては作れません。「子ども達の声がきこえることは、とても喜ばしいこと」という住民の方の温かい声で設置され、見守られてきました。

また、アンケートからわかることは、自分が遊んだ公園で我が子を遊ばせる喜びや、子どもと遊んだ思い出深い場所であることなど、「公園」の存在がずっとその後の人生にも大きな心の支えにもなるということです。その場限りの場所ではないことが、多くの方のご意見から見えてきます。



質問 公園の撤去を知ったきっかけ
～アンケート調査より



※上記アンケートの回答内容は、秋津事務所または右のQRコードからご覧いただけます。



東村山民報 2021年11月号外 山田たか子活動紹介です。
◇東村山民報社◇ 小松恭子 東村山市美住町1-2-5

※山田たか子
ツイッター



※いま しんぶん赤旗 がおもしろい!
日刊紙 月3,497円(一部売130円)
日曜版 月930円(一部売240円)
日刊紙 電子版(月3,497円)

